opusdei.org

## 33. イエスは洗礼者 聖ヨハネの弟子でし たか?

洗礼者聖ヨハネとイエスの間の関係が直接的で緊密であるとすれば、それは師匠と弟子の関係であったのではないかと疑問を挟む余地があります。

## 2014/02/04

この質問に対して適切に答えるためには、学者たちの間で議論された3つの資料について説明する必要があ

ります。それは、ヨハネの弟子、ヨルダン川での洗礼の意義そしてイエスが洗礼者ヨハネを称賛している点についてです。

1. ヨハネの弟子 福音書はヨハネが 弟子を持っていたことをしばしば 語っていますが、その内のあるもの はヨハネのもとを去ってイエスにつ いて行きました(ヨハネ1,35-37)。 弟子たちは単に追随者でした、行動 をともにするもの、つき従うもの で、きっと生活(マルコ2,18)と考え 方(ヨハネ3,22)を共有するものもい ました。フラウィウス・ヨセフスは 支持者を2種類に分けています。そ の一つは善徳、正義、信心について 熱心に話を聴き洗礼を受ける人たち で、もう一方は「ヨハネの周りに集 まりその話を聞いて非常に高揚する 人たち(フラウィウス・ヨセフス、 ユダヤ古代誌18,116-117) | でし た。ヨハネの追随者の中には、イエ スがヨハネのライバルのような行動

をとっているので(ヨハネ 3,25-27)、同じ弟子とはみなせない とヨハネに言い出す者もいました。

2. イエスの洗礼 専門家たちはこれ らの事柄の歴史性を疑いませんが、 いろいろとある中で福音書の中に加 えられてあるということ自体、いく つかの困難を見ることが出来ます。 その一つは洗礼者ヨハネがイエスに 洗礼を行ったことによりヨハネがイ エスより上位にあるという解釈の可 能性、他には悔悛の洗礼を受けたこ とによりイエスが罪の意識を持って いたと考えうる点です。共観福音書 はヨハネが低い立場にあることを認 識していた事を明確に語っており、 イエスに洗礼を行うことを拒否し (マタイ3,13-17)、天の声はイエス の神としての威厳を明らかにしまし た(マルコ1,9-11)。そして洗礼に ついて何も触れていない第四の福音 書はヨハネがイエスの頭の上に鳩が 止まるのを見て(ヨハネ1,29-34) 自 分がイエスより低い立場にあること 認めた(ヨハネ3,28)ことを示して います。とはいえ、このことからた だちにイエスが洗礼者ヨハネの弟子 であったとは結論づけられません。 もし福音書の著者たちがイエスは カネの弟子であったと詳しく語らな かったとすれば、弟子でなかったと いうことです。

3. イエスの称賛 洗礼者ヨハネに対 する尊敬を表すイエスの二つの文章 があります。一つはマタイ(マタイ 11,11) とルカ (ルカ7,28) が記して います。「女から生まれた者で洗礼 者ヨハネより偉大な者は現われるこ とがない | 。もう一つはマルコ (マ ルコ9,13) にあり、マラキアの予言 (マラキア3,23-24) をヨハネに当て はめています「エリアスが最初に来 てすべての事を回復するでしょ う | 。それにもかかわらず、私はあ なた方に言います、とイエスは確信 を持って言いました、エリアスはも

う既にきてヨハネと彼らの望むこと を、ヨハネにより書かれたとおり行 いました。ヨハネの人間性、彼の 行った洗礼(参照;マタイ21,13-27) と彼の教えは、イエスの生活の中で 生かされていることは疑いの余地は ありません。それにも拘わらず、イ エスは全く異なった道を進みまし た。その行動に関しては、国の全 土、首都エルサレム及び神殿の周辺 を歩き巡ったこと、教えに関しては 万民の救いの御国を説いたというこ と、弟子に関しては律法の掟と修徳 方法にまさる愛の掟を教えたことで す。しかし、最も目につく点はイエ スがあらゆる時代とあらゆる民族の 人々の救済の道を拓いたことです。

結論として、イエスがヨハネの追随者としてある時期過ごしたことは、わずかに考えられるものの確認は出来ておらず、決定的な影響を受けたとは言えないでしょう。イエスは弟子どころか最後で偉大な預言者であ

る洗礼者ヨハネにより告げられたメシア・救済者でした。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/33-iesuhaxi-li-zhe-sheng-yohanenodi-zi-deshitaka/ (2025/12/12)